

前期基本計画 平成28年度 施策方針評価書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策：06 笑顔輝く健康づくりへの支援

施 策：01 望ましい生活習慣の定着

施策担当職・氏名	総括主査兼総括保健師 滝田 律子
-----------------	------------------

1. 施策の平成28年度までの実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

	<p>急速な高齢化や生活習慣の変化により、疾病全体に占める生活習慣病（がん、虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病等）の割合が増加していますが、特に、岩手県は脳卒中の死亡率が全国ワースト1であり、滝沢市も全国平均より高いことが課題となっています。これら生活習慣病は、自らの心がけにより、ある程度予防することが可能で、一人ひとりが健康の大切さを認識し、自らの健康づくりに責任をもって取り組む事が大切であり、これを支援するために、家族・地域・団体・行政がそれぞれの役割を果たすことが重要です。</p> <p>自分の健康状態を把握し、主体的に健康づくりに取り組むことができるよう、概ね40歳から64歳までの成人を対象とし、がん検診を含む各種検診事業の実施や健康教育・相談、広報、ホームページ等の媒体を通しての健康知識の普及啓発等、市民が健康づくりを進めやすくするための環境を整備することで、壮年期の死亡の減少、健康寿命の延伸及び生活の質や人生の質（QOL）の向上を目指してまいります。</p>
--	--

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 自分が心身ともに元気と感じる人の割合 単位 %	57.1	58	58.6	59.4	60	60.5	B	
			57	58.4	-	-	-	38.2	
2	幸福 健康づくりに取り組んでいる人の割合 単位 %	59	60	61	63	65	66	D	
			58.2	55.8	-	-	-	△45.7	
	単位								

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推移	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
1	361 肺がん検診事業 受診率 単位 %	目標値	33	33	34	37	38	39
		実績	34.8	36.8	39.4	38.7	-	-
2	604 胃がん検診事業 受診率 単位 %	目標値	31	32	33	34	35	36
		実績	32.3	33.8	34.5	33.3	-	-
3	655 大腸がん検診事業 受診率 単位 %	目標値	30	32	33	34	35	36
		実績	32.6	32.9	34.3	34.4	-	-
4	1785 精神保健事業 精神保健相談回数 単位 回	目標値	8	8	6	6	6	6
		実績	8	8	6	6	-	-
	単位	目標値						
		実績						

前期基本計画 平成28年度 施策方針評価書

政 策 : 02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策 : 06 笑顔輝く健康づくりへの支援

施 策 : 01 望ましい生活習慣の定着

施策担当職・氏名 総括主査兼総括保健師 滝田 律子

2. 施策の実現に向けての平成28年度までの取り組み状況を分析する

(1) 施策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> がん検診において、昨年度より受診率が上昇したのは大腸がん検診、乳がん検診（乳がんは滝沢市の女性のがん死亡率1位）で、それ以外は若干減少しました。 生活保護受給者の基本検診事業の受診率は、生活保護担当課との連携で受診勧奨を行った結果上昇しています。 食事、運動等の望ましい生活習慣定着のため、健康づくり支援者とともに地域で健康づくり事業を通して必要な情報と運動などの実践の場の提供に努めました。 	

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成28年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】受診しやすい検診・健康づくりに取組む市民の増加</p> <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種がん検診の受診率は、大腸がん検診、乳がん検診は上昇しましたが、胃がん検診、肺がん検診は減少しました。 健康づくり支援者とともに、地域での健康づくりを積極的に実施しました。健康づくり支援者が企画して実施した健康教室は、172回、参加者は延3,563人で、昨年度より運動普及推進員の地域での自主的なウォーキング教室などが増加しました。またこの内、保健推進員の企画による、自治会毎の健康教室は、30自治会中29自治会で32回実施しました。 	

3. 施策の実現に向けての平成28年度実施後での変化を認識する

(1) 施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<p>【外部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の増加に伴い、誤嚥の危険性など虚弱な方には適さない胃がん検診は受診者数が減少しています。 食生活の欧米化や交通手段の発達による運動不足、ストレス社会などの要因で生活習慣病の割合は増えています。 超高齢社会を見据え、壮年期からの健康づくりが重要です。 <p>【内部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活保護受給者の健康度が低い実態から、より担当課と連携し受診率向上に取り組む必要があります。 健康づくりに取組む方の増加を目指し、関係機関と協議し多方面からの啓発が必要です。 	

(2) 基本施策との関連性から施策の見直し

A	必要なし
<p>「誰もが幸福を実感できる地域」を目指す本市において、市民が幸福を実感するための条件として「心身の健康」が第1位であることから、更なる、個人の健康づくりの動機付けとなる啓発と住民協働による健康な地域づくり、市民が健康づくりを進めやすい環境整備に努める必要があると考えます。</p>	

4. 施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 平成30年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種検診の受診率向上に向けて、個々への働きかけとともに、各自治会と協働し、地域ぐるみの取り組みを進めていく必要があります。 検診受診や運動、食生活等の生活習慣の改善等、市民個々の主体的な健康づくりの取り組みの更なる推進が必要です。 <p>【引き継ぎ課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康寿命の延伸や超高齢社会に向けて、65歳未満の方の健康づくりが重要ですが、参加者が少ない状況です。教室の開催時間や啓発の方法について、今後、関係機関と協議し検討していく必要があります。 胃がん、肺がんの受診率が低下しており、今後、受診啓発について取り組みが必要です。 	

前期基本計画 平成28年度 施策方針評価書

政 策 : 02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策 : 06 笑顔輝く健康づくりへの支援

施 策 : 01 望ましい生活習慣の定着

施策担当職・氏名 総括主査兼総括保健師 滝田 律子

(4) 所管実行計画事業費一覧

No	事業名			計画額	実績額	比較 (%)
	分野別計画					
	実施計画					
246	基本・長寿健康診査事業 第2次滝沢市地域保健計画「たきざわ健康プラン21」			26,129	26,545	1.6
361	肺がん検診事業			11,917	10,730	△10.0
604	胃がん検診事業			24,283	23,135	△4.7
655	大腸がん検診事業			10,151	9,647	△5.0
951	インフルエンザ予防接種事業			17,605	19,105	8.5
1785	精神保健事業			825	814	△1.3
1986	食育推進事業 第1次滝沢市食育推進計画			351	244	△30.5
2395	患者輸送車運行事業			518	425	△18.0
2427	婦人病検診事業 第2次滝沢市地域保健計画「たきざわ健康プラン21」			26,175	22,267	△14.9
2965	健康教育・相談事業 第2次滝沢市地域保健計画「たきざわ健康プラン21」			1,143	934	△18.3
7458	骨粗しょう症予防検診事業 第2次滝沢市地域保健計画「たきざわ健康プラン21」			11	11	0.0
7549	人間ドック事業			4,092	5,698	39.2

